

平成26年5月15日(木)
国土交通省関東地方整備局
千葉港湾事務所

記者発表資料

平成26年度 千葉港湾事務所の事業概要について

千葉港湾事務所の平成26年度における事業概要は、以下のとおりです。

千葉港湾事務所では、千葉港千葉中央地区及び葛南中央地区において、老朽化対策事業を実施していきます。

また、海上交通が輻輳している東京湾の船舶の航行安全・湾内の環境改善のため、清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ゴミや油の除去を行うとともに、モニタリングポストによる水質の連続観測等(東京湾海洋環境整備事業)に引き続き取り組んでいきます。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
千葉県記者クラブ、千葉市記者クラブ

問い合わせ先

所属	関東地方整備局	千葉港湾事務所
氏名	副 所 長	<small>ふるかわ</small> 古川 <small>まさみ</small> 正美
	工務課長	<small>あめみや</small> 雨宮 <small>やすよし</small> 康良
電話	043-243-9173	
FAX	043-204-4559	

千葉港老朽化対策事業

H26年度事業費： 5.9億円

【千葉県 船橋市、千葉市】

事業の概要

千葉中央地区の公共ふ頭では、コンテナ及び完成自動車等、葛南中央地区の公共ふ頭では鋼材等の取扱いが行われており、背後圏と国内外を結ぶ物流拠点として重要な役割を果たしています。

施設完成後経年劣化が著しい千葉中央地区岸壁（水深12m）において、老朽化対策を実施します。また千葉港葛南中央地区においては、船舶大型化に対応した航路の機能を確保するための埋没対策を実施します。

平成26年度予定

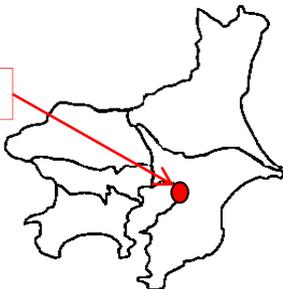
岸壁（水深12m）の補修及び航路（水深12m）の浚渫を実施します。

事業の効果

老朽化した施設の機能更新を行い延命化を図ります。

【位置図】

千葉港



東京湾 海洋環境整備事業

H26年度事業費：1.6億円

【東京湾全域】

事業の概要

東京湾における港湾区域以外の一般海域は国が清掃活動を実施しています。また、油流出事故等が起こった際には浮遊油回収等も行います。さらに、東京湾では富栄養化による赤潮や貧酸素水塊による青潮が発生しており、海洋環境把握のため水質データ等の取得も行っています。

平成26年度予定

○清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ゴミ・油の回収、水質調査を実施します。
○東京湾内に設置した4箇所のモニタリングポストにより、気象(風向・風速・気温)、水質(水温・塩分・濁度・クロロフィルa・溶存酸素)、流況(流向・流速)について連続観測を実施し、データを公開します。

事業の効果

○海面を漂う浮遊ゴミ・油の回収を行い、東京湾の水質改善及び親水空間への漂着による景観悪化防止並びに、航行船舶の安全性向上が図られています。
○環境モニタリング等の各種環境調査を行うことで、湾全体の環境メカニズムの把握、水環境・生態系の保全・再生等今後の環境改善対策に生かされます。



清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊船舶の回収作業



湾内6箇所にて水質調査を実施



設置されたモニタリングポスト(川崎人工島)



(浦安沖)